

中堅看護師研修会

9月8日(金)

会場:コンセーラーアイリスホール

地方行政独立法人
栃木県立がんセンター

中村 晃子



看護政策と看護記録について

中堅看護師研修会に参加し、他施設の現状や普段知ることができない看護職国會議員の活動について話を伺うことができました。

私たち看護師が日々の業務の中で多くの時間を費やしている看護記録は、医療法により必要なものではありますが、その記録量は年々増加しているように感じます。実際に、研修中に他施設の看護師と行ったグループワークでも、記録にかかる時間が長く、業務負担の増加や勤務時間延長の要因となっているとの意見が多く聞かれました。講義を受け、現在国では医療記録に関する調査が実施されていないことや、専任の担当者がいないことを知りました。看護師が本来行うべき「看護」の提供に充てる時間を十分に確保するためには、国単位での介入が必要だと感じました。

よりよい医療・看護の提供のため現場の声を国会に届けていただけるよう、私達の代表である看護職国會議員の皆様を応援していくたいと思います。

県別会議

11月7日(火)

会場:宇都宮東武グランデ

11/7 県別会議に参加して



佐野支部長

山脇 富士野



平成29年11月7日(火)日本看護連盟 尾形妙子常任幹事を迎え「栃木県 県別会議」が開かれ、県看護連盟と県看護協会の連携状況や会員数増加の取り組み、各支部や青年部の活動について、活発な意見交換を行い、情報共通を図りました。地域の人々の生活と療養を支える看護職の現場の声を聞き、実ある政策の実現にむけ、看護連盟は看護協会と協同し地道に行動をしています。そして会員の皆様一人一人が看護連盟活動にご理解と、ご協力を頂いた結果が、会員数の増加や会員比率の高さに繋がっていると考えます。また、若者の選挙離れが言われている中、看護職の20代から30代の年齢が60%を占める連盟会員に対し、選挙行動へ結びつけるため、若い人の気質を理解し自律した発想や行動を承認し、持っている力を引き出すことが私たち支部役員の使命である事を再認識して会議を終了しました。

県役員・支部・支部幹事長・青年部委員合同会議

11月7日(火)

会場:宇都宮東武グランデ



青年部 実行委員

滝 口 貴 大



平成29年11月7日に、「県役員・支部長・支部幹事長・青年部委員合同会議」に参加させて頂きました。今回の会議に参加し、各支部間での活動状況が報告され、活動内容と、問題点を情報交換することが出来ました。

また、連盟役員として、今後どのように取り組んでいくべきなのかをグループワークで話し合いました。その話し合いの中で、連盟の役割をまだ知らない連盟会員

が居るという事が意見として出ました。「連盟=選挙」など、政治活動をする団体という、イメージが強いという事が意見として上がりいました。看護連盟の役割や活動を知ってもらう事が大切ではないかと思います。

今後、青年部の一員として、研修会の開催や、連盟の活動などを報告できる機会や、連盟に触れる機会を増やしていくこう思います。少しでも、連盟に対して関心を持ってもらえるよう今後も活動していきたいと思います。

会員研修会 賛助会員 研修会

御殿山病院
鈴木 伸子

11/30 会員研修会 クリスマスリース作りに参加して

久しぶりに看護連盟の研修会に参加して、看護連盟の誕生から看護連盟の役割と活動について、説明がありベッドサイドの問題を政策に反映してもらうためにも、会員1人1人の力が必要であることを改めて再確認することが出来ました。

その後のクリスマスリース作りでは、講師の井沢先生が作成されたリースを参考にそれぞれ自分が思うように自由にイメージをして、製作に取り組みました。

個性豊かで手際よく早く完成する方、私のようになかなか思うように行かず苦労しながらも、楽しみながら完成する方とそれぞれでしたが、完成したリースを見ると、とても素敵なリースでした。

それぞれ自分のクリスマスリースを手に取り、完成した方から記念写真「ハイポーズ」。皆さんとても素敵な笑顔で満足そうでした。

職場を離れ1つのことに集中してクリスマスリース作りに専念するのも、たまにはいいですね。楽しく満足した研修で良かったです。

